



多田 勉 議員

一問一答方式

新たな施設の管理運営費の財源として、国、県の交付金や全国から寄付金を募るなど確保に取り組む。

公共施設等の現状と管理経費の確保は

市長 令和元年度の支出 18億6千万円

問.....

計画に搭載されている施設数と管理経費の実態は。

答(市長).....

平成29年度計画策定時の対象は294施設で、使用料等の収入が9億3390万円、水道光熱費等の支出が17億3530万円となっていた。
今年度は293施設となっており、令和元年度決算では収入9億73

4万円、支出18億6529万円となった。

問.....

将来の管理経費を確保するための根拠は。

答(市長).....

公共施設のあり方を見直し、長期的視点で施設の更新、統合、長寿命化などを計画的に実施するため、総合計画や予算との整合性を図りながら取り組んでいる。



改修工事が始まった道の駅遠野風の丘

同じ施設整備に委託事業の再発注は

市長 過去3年間で1件

問.....

施設整備委託料等の成果は市民の意に沿ったものか、その評価は。

答(市長).....

新築・改修を含め、設計委託料は過去3年間で17件、1億7399万円となっており、その成果は市民の意に沿ったものと評価している。

問.....

同じ事業で過去に発注し、再度委託事業を発注した例はないか。

答(市長).....

過去3年間で道の駅遠野風の丘改修工事に係る設計業務1件がある。
平成29年度から30

問.....

基本設計と実施設計を同時発注することは不適切で、初回発注を見直し再発注したことにより委託料の総額は約600万円増額となっているのでは。

答(市長).....

今後の事務執行にあたっては慎重に行い、対応を間違わないように心掛けていく。

学んで行動する 議会へ

市政調査会

調査日 令和2年7月27日
参加議員 17名

小友町の太陽光発電施設整備地を現地調査

小友町外山地区に建設が進められている大規模太陽光発電施設について、調査を行った。

当初計画より遅れている工事の今後の予定や、河川の濁水対策工事、濁水の改善について説明を受け、太陽光パネル設置の状況を視察した。

濁水対策としては、調整池の拡張工事や緑化促進をしているとのこと。また、河川の濁度については、昨年より改善しているとのことだったが、調査日は雨で、むき出しとなった地面を濁った雨水が流れる状況も確認できた。災害対策、濁水対策について、今後も注視していきたい。



当日の雨で、むき出しとなった地面を雨水が流れだしていた



濁水対策のため緑化を進めている



91.8haの敷地にパネルが並び



4台に分乗し、現地を調査。事業者から概要説明を受ける

